意見広告

テレビにはしっかり事実を伝えて欲しい…
それが、視聴者の切なる願いです。

テレビ報道は、貴重な公共財である電波を独占的に使用して、広く国民に情報を届ける役割を担っています。
放送局には、公平・公正な報道で、国民の知る権利に応える責任があります。

今のテレビ報道は、その責任を果たしているでしょうか?

「加計問題」を扱ったテレビ報道時間合計8時間36分23秒
閉会中審査における驚くべき放送時間の格差

学校法人加計学園による獣医学部開設に、安倍総理大臣や官邸の働きかけがあったかどうかを巡って、7月10日に行われた国会の閉会中審査についての報道で、3人の参考人が証言しました。ところがテレビ報道では2日間8時間を超える放送時間中、ほとんどの番組で前川喜平氏による証言を大幅に取り上げ、他の参考人がほとんど存在しないかのような報道になっていました。

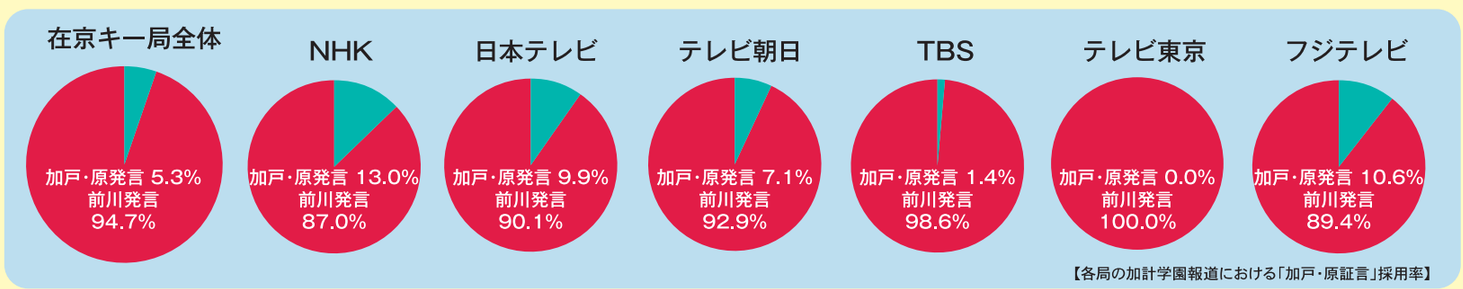
■参考人3人の発言を放送した時間
2時間42分22秒

前川喜平・前文科事務次官の発言を放送した時間
2時間33分46秒 行政が歪められた
▶閉会中審査での答弁時間／前川喜平氏：1時間13分24秒（衆議院44分40秒、参議院28分44秒）
▶答弁時間と発言を取り上げたテレビ報道時間の割合／前川氏＝209%

意見が対立

加戸守行・前愛媛県知事の発言を放送した時間
6分1秒 歪められた行政が正された
▶閉会中審査での答弁時間／加戸守行氏：22分36秒（参議院のみ）
▶答弁時間と発言を取り上げたテレビ報道時間の割合／加戸氏＝27%

原英史・国家戦略特区ワーキンググループ委員の発言を放送した時間
2分35秒 規制改革のプロセスに一点の曇りもない
▶閉会中審査での答弁時間／原英史氏：12分21秒（衆議院のみ）
▶答弁時間と発言を取り上げたテレビ報道時間の割合／原氏＝21%



【各局の加計学園報道における「加戸・原証言」採用率】

平成29年7月10日14時19分以降から7月11日の各局のニュース番組（昼のワイドショーを含む）、合計30番組を調査。「加計学園問題」を扱った合計時間は8時間36分23秒、うち参考人を直接引用した各時間を算出。ただし放送時間のほとんど全部が前川氏の発言をベースとした番組構成だった。（一般社団法人日本平和学研究所調べ）

報道された前川氏の発言

※7月11日在京キー局の昼のワイドショー番組で放送された発言

- 初めから加計学園に決まっていた
- 加計学園に決まるようにプロセスを進めてきたように見える
- 非常に不公平であり、国民の目からよく見えないところで決定が行われている
- その背景に官邸の動きがあったというふうに思っております

実際の国会審議は、テレビが映し出す様子とはまるでちがっていました

- 私の知事の任期の終わりの方に民主党政権が誕生して、自民党じゃできないのは私たちがやると言って頑張ってくれました。（加戸氏　7月10日参議院文教科学委員会）
- 加計ありきなどという指摘は全くの虚構であることは、公開されている議事録を見ていただければすぐにわかることではないかと思います。（原氏　7月10日衆議院文部科学委員会内閣委員会連合審査会）
- 五十年間新設がなかった獣医学部が新設されることで、ゆがんでいた規制を正すための第一歩が記されたと思っております。（八田氏　7月24日衆議院予算委員会）

これらの発言を、皆さんはご存知でしたか?

国会抄録

●加戸守行前愛媛県知事の発言

獣医学部新設に愛媛県今治市はどんな夢を託した?

○（略）東京一極集中ではなくて、地方も頑張るんだ、地方も国際的な拠点になり得るんだよ、そういうものモデルケースとして愛媛県の今治の夢を託している事業です。（略）（7月10日　参議院文教科学委員会　里見隆治氏の質問への証言）

なぜ獣医学部新設にチャレンジした?

○私が知事に着任早々、鳥インフルエンザの問題、あるいはアメリカとの狂牛病の問題、しかも終わりの時期には口蹄疫の問題などで、愛媛県で公務員獣医師、産業担当獣医師の数の少なさ、確保の困難さ、そして獣医学部の偏在等々の状況のときにちょうどまた加計学園が今治の新都市への進出という構想を持ってこられたので、渡りに船とこの獣医学部構想で取り組んでいただいて、単に獣医学部ということではなくて、アメリカに見習って、先端サイエンスなり、あるいは感染症対策なり、全てが国際水準に負けないような新たな分野に取り組む獣医学部として国際的に恥ずかしくない拠点にもしたい。（同前　里見隆治氏の質問への証言）

加計の認可スタートのきっかけはどの政権の時だった?

○特区の申請をしてから何回も門前払いを食らいました。
○原英史参考人　特区ワーキンググループでは、今治の国家戦略特区提案がなされる以前の平成二十六年から、当時は新潟の提案を前提として何度も議論してまいりました。加計ありきなどという指摘は全くの虚構であることは、公開されている議事録を見ていただければすぐにわかることではないかと思います。（略）（7月10日　衆議院文部科学委員会内閣委員会連合審査会）

●国家戦略特区ワーキンググループのメンバーはどう発言した?

○原英史参考人　特区ワーキンググループでは、今治の国家戦略特区提案がなされる以前の平成二十六年から、当時は新潟の提案を前提として何度も議論してまいりました。加計ありきなどという指摘は全くの虚構であることは、公開されている議事録を見ていただければすぐにわかることではないかと思います。（略）（7月10日　衆議院文部科学委員会内閣委員会連合審査会）
○八田達夫参考人　特区ワーキンググループでは、今治の国家戦略特区提案がなされる以前の平成二十六年から、当時は新潟の提案を前提として何度も議論してまいりました。加計ありきなどという指摘は全くの虚構であることは、公開されている議事録を見ていただければすぐにわかることではないかと思います。（略）（7月10日　衆議院文部科学委員会内閣委員会連合審査会）
獣医学部の新設制限は、日本全体の成長を阻害しています。鳥インフルエンザなどの感染症対策、製薬やバイオなどの重要な成長分野です。日本経済を再活性化させるには、こうした分野で世界的に勝負できる獣医学研究者の育成は欠かせません。五十年間新設がなかった獣医学部が新設されることで、ゆがんでいた規制を正すための第一歩が記されたと思っております。（略）（7月24日　衆議院予算委員会）

事務次官が内部告発? 文書流出経路を巡る問答はどうだったか?

○前川喜平参考人　（略）在職中にできることはそこまでであったというふうに思っております。在職中に内部告発をするという選択もあったかもしれませんけれども、私としては、やはりそれはなかなか難しかったというふうに思っております。（略）
○平井たくや委員　事務次官ですよ、もっとちゃんと自分の意見を言う機会はいくらでもあると思います。部下がたくさんいらっしゃるわけだし、総理だって話を聞きますよ。
内部告発なんというのを事務次官が考えること自体が私は信じられないんですが（略）文科省文書は前川さんが流出元ではないかというふうにいろいろなところで報道されていますが、まさかそんなことはないと思いますので、そのことについてイエスかノーかでお答えください。
○前川参考人　文書の提供者が誰であるかということにつきましては、私はお答えを差し控えさせていただきます。
○平井委員　ちょっと待ってくださいよ。（略）もし前川さんが自分で出して、あったことをなかったことにはできないと言って会見をして、きょうの流れがあんだったら、これはまさに茶番なんですよ、（略）ないとお答えできないんですか。
○前川参考人　さまざまな文書が世の中に出てきているわけでございますけれども（略）これは私が何らかそこで明確なお答えをすべきものではないというふうに思っているわけでございます。（7月10日　衆議院文部科学委員会内閣委員会連合審査会）

「総理の意向」は「事実」、それとも「想像」?

○櫻井充委員　それから、もう一つ、その資料の二、（略）これは萩生田副長官の御発言概要がどうか、それは別として（略）総理は平成二十年四月閣学とお尻を切っていたと。つまり、私は、やはり萩生田官房副長官ではなくて総理がこういうことを加計理事長からお願いされて、それを和泉補佐官に相談して、和泉補佐官が動いて変わってきているんじゃないだろうかなと、私はそう思います。
　前川参考人として、この点についていかがお考えでしょうか。
○前川参考人　私も個人的にはいろいろな想像はいたしますけれども、私が知っていることからは、なかなかそこまでの結論は明確には出せないと思っております。
○櫻井委員　一〇〇%の証拠はありません。しかし、今日議論をお伺いしていてやはりその流れから見ると、萩生田官房副長官、最初からこの案件について詳しいわけじゃないんです。随分変わってまいりました。ですから、後半からは、多分和泉補佐官と話をされ、総理からもいろいろ話をされたのかどうか、そこは想像でしかありませんですが、少しずつ変わってきています。（略）（7月10日　参議院文教科学委員会）

前川氏と和泉補佐官の面会はどう証言された?

○宮本（徹）委員　（略）きょう、前川参考人に来ていただいておりますが、午前の質問を受けて質問したいと思いますが、官邸の和泉首相補佐官に二度にわたって呼び出しを受けたというお話でしたが、なぜ繰り返し和泉首相補佐官から呼び出しを受けたと感じられているんですか。
○前川参考人　大変お急きだったんだと思っております。
○宮本（徹）委員　大変お急きだったと。
　何を急いでいたんですか、和泉首相補佐官、何を急いでいたんですか。
○和泉洋人参考人　（略）私、二〇一二年九月まで地域活性化統合事務局長を務めておりまして、この獣医学部の新設というのが岩盤規制の象徴の一つであるということはよく承知していました。それが今回の新しいスキームの中でできそうだということについては、感慨深いものがございました。
　そこで、知らない仲ではない前川参考人に、私の部屋に来ていただいて、状況はどうですかとお聞きしました。それに対して、一回目は、たしか前川参考人もどこかで書いておられますが、十分状況を承知していなかった。私の方からは、次官としてフォローしてほしい、こうお願いしました。また、同じように、総理が言っているお話を受けて、スピード感を持って取り組むことが大事だというお話をしました。
　その上で、しばらくたって、その後どうなったかなというような感じで、前川参考人にまたお話を聞きましたが、そのときにも検討中であるということでございました。
　それ以降、私は前川参考人とお話もしてございませんし、前川参考人も私のところに相談にも来ていないと承知しております。（7月24日　衆議院予算委員会）

京都産業大と加計学園――選定プロセスに問題はあったのか?

○前川参考人　（略）問題の所在は、なぜ加計学園にだけ決まったのかということころにございまして、（略）京都産業大学の提案との比較検討がきちんとおこなわれたのかどうか、そこも明らかでない。（略）（7月10日　参議院文教科学委員会）
○小野寺五典委員　（略）加計学園と競合した京都産業大学、この方々が記者会見で何と言っているかというと、不透明な決定だとは思わない、納得できない部分も特にない。そしてまた、京都府の知事も、きちっと委員会で判断されたと言って、その上で、京都府がこれまで取り組んだのは昨年が初めて、加戸さんの愛媛県に比べると、我々としては努力が足りなかった、結局、思いの問題だ、どれだけ熱心に獣医学部の必要性を訴えてきたかという話になる、加戸さんは本当に必死になってやってこられた、そして、競争に敗れたことについて恨み言を言う気は全くございませんと。（略）（7月24日　衆議院予算委員会）

平成二十七年四月二日、首相官邸を訪問した今治市職員は安倍総理に面会した?

○前川参考人　（略）問題の所在は、なぜ加計学園にだけ決まったのかということころにございまして、（略）京都産業大学の提案との比較検討がきちんとおこなわれたのかどうか、そこも明らかでない。（略）（7月10日　参議院文教科学委員会）
○小野寺五典委員　（略）加計学園と競合した京都産業大学、この方々が記者会見で何と言っているかというと、不透明な決定だとは思わない、納得できない部分も特にない。そしてまた、京都府の知事も、きちっと委員会で判断されたと言って、その上で、京都府がこれまで取り組んだのは昨年が初めて、加戸さんの愛媛県に比べると、我々としては努力が足りなかった、結局、思いの問題だ、どれだけ熱心に獣医学部の必要性を訴えてきたかという話になる、加戸さんは本当に必死になってやってこられた、そして、競争に敗れたことについて恨み言を言う気は全くございませんと。（略）（7月24日　衆議院予算委員会）
○森ゆうこ委員　（略）菅官房長官に伺います。首相官邸のことですから。いったい、四月二日に一地方都市の課長、そして課長補佐が訪れるということはほとんどないわけですよ。何で分かんないんですか。なぜ記録がないんですか、なぜ誰も確認できないんですか、誰も覚えていないんですか、お答えください。
○菅義偉官房長官　（略）訪問予定者の入邸確認後に訪問予約届はその使用目的を終えることに加え、外部からの入邸者数というものは一日に三百人から四百人いるということです。これを全て保存すれば個人情報を含んだ膨大な量の文書を適切に管理する必要が生じることもあり、公文書管理法や関係規則などに基づいて遅滞なく破棄すると、こういう取り扱いになっています。（このあと2名の発言が各1回続くが略）
○森委員　国民をばかにするのもいい加減にしてください。今治市は、七千八百枚、加計学園問題に関しての行政文書を管理、保管し、市民の情報開示請求にのって全部出したんですよ、私のところに全部ありますよ。なぜ官邸はこんなことも確認できないんですか。なぜ誰も覚えていないんですか。（略）（7月10日　参議院文教科学委員会）

※発言趣旨は一切変えていませんが、スペースの関係上一部に省略、語の調整があります。太字箇所は事前のやり取りを纏めたものです。

【放送法第4条】
一　公安及び善良な風俗を害しないこと。
二　政治的に公平であること。
三　報道は事実をまげないですること。
四　意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

テレビ局のみなさん、国民の知る権利を守るため、放送法第4条を守ってください。

放送法遵守を求める視聴者の会
http://housouhou.com
〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ダイヤビル2階　◉お問い合わせ／電話:03-6869-8116 FAX:03-6800-1780　E-mail: info@housouhou.com